

—第2回—

「ロボット支援手術の導入とその後」

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

しま ずい とおる
病院長 島居 徹



本年春に予定していたロボット支援手術（以下ロボット手術）の公開講座が新型コロナウイルス感染症の拡大のため中止となってしまいましたので、本手術の歴史と当院の今後についてご紹介します。

ロボット手術はダヴィンチ手術に代表されますが、これはもともと米国陸軍が遠隔操作で戦場の負傷者に必要な手術を行うことを目的に開発されました。湾岸戦争が早期終結したため、以後民間で開発され2000年7月に米国で承認された機器です。日本でも機器は2000年に導入されましたが、本格稼働は2012年4月に前立腺がんのロボット手術が保険収載されてからです。

腹腔鏡や胸腔鏡を用いた内視鏡外科手術のひとつで、拡大3D画像と人の手同様かつ直感的に操作できるロボットアームを有し、従来の内視鏡手術では難しかった縫合操作などが自在にでき、手術の侵襲も軽減できる手術法です。骨盤腔など開腹手術でも操作が制限される部位の手術では、開腹手術よりも操作しやすい場合も多く、前立腺の手術などでめざましい普及をしてみりました。

当院では、2013年にこのダヴィンチシステムを導入し、同年9月に第一例目の前立腺全摘術を実施、以後、本年の7月までに計462例のロボット手術を施行致しました(表)。現在国内では21術式が保険収載されていますが、当院ではこの中の10術式で施設基準を満たしており、今年秋には

新たな術式の開始も予定しています。

ロボット手術は、今後、内視鏡手術がさらに患者さんに優しい手術として、普及していくことに貢献するものと考えられます。もし当院でのロボット手術を希望される場合は、担当の先生とご相談の上、紹介受診あるいはセカンドオピニオン外来受診をご検討くださいますと幸いです。

保険収載年	ロボット支援手術の術式	当院で実施できる手術	実施症例数
2012	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	○	309
2016	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術	○	96
2018	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術	○	1
2018	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術	○	6
2018	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)	○	18
2018	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術	—	—
2018	胸腔鏡下弁形成術	—	—
2018	腹腔鏡下胃切除術	—	—
2018	腹腔鏡下噴門側胃切除術	—	—
2018	腹腔鏡下胃全摘術	—	—
2018	腹腔鏡下直腸切除・切断術	—	—
2018	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	○	10
2018	腹腔鏡下腔式子宮全摘術	○	2
2018	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がん)	○	20
2020	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術	○	0
2020	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除)	○	0
2020	腹腔鏡下腎盂形成手術	△	—
2020	腹腔鏡下仙骨腔固定術	—	—
2020	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術	—	—
2020	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	—	—
2020	腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術	—	—
合計			462

△：2020年秋に開始予定